



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成 25 年 5 月 28 日

本資料の発表をもって解禁

万代長嶺小学校 6 年生が大河津分水の現場学習を実施します ～治水の歴史と豪雨災害を学ぶ～

平成23年7月新潟・福島豪雨では、新潟県内に大きな爪痕を残し、信濃川では普段の穏やかな流れからは想像もつかない大きな水害が発生しました。

信濃川は越後平野に大きな恵みを与える一方で、時には「はん濫」を繰り返し、人々に大きな被害をもたらしてきました。

こうした状況においても先人達は、信濃川とともに生きるため、洪水の脅威を克服するために知恵や工夫を凝らし、大河津分水の建設など絶えず治水に尽力してきました。

今回、「新潟市立万代長嶺小学校6年生」がこうした信濃川の洪水や治水の歴史、大河津分水の役割、越後平野の歴史・文化を学び、理解を深め、また防災意識の高揚を図るために「大河津分水の新可動堰」などの現場で学習を行います。

なお、万代長嶺小学校 6 年生は平成 22 年度から「信濃川を学ぶキッズリバーガイド」の取り組みを行うなど積極的な学習活動を続けています。

■事前学習会

日 時：平成 25 年 5 月 31 日（金） 14 時 45 分～15 時 30 分

場 所：万代長嶺小学校 多目的室

■現場学習会

日 時：平成 25 年 6 月 7 日（金） 9 時 30 分～15 時 15 分

場 所：大河津可動堰の現場など

9：30頃 「信濃川大河津資料館」

10：30頃 「旧可動堰」

11：00頃 「魚道観察室」

12：10頃 「大河津可動堰の改築工事現場」

12：40頃 「第二床固」

14：15頃 新潟市西区榎尾「宝光院」（M29 年横田切れの痕跡が残る）

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ

新潟新県政記者クラブ

長岡市記者会

長岡地域記者会

十日町記者クラブ

三条市記者室

燕市記者室 その他業界紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所

広報担当 専門官 清水 克之

電話 0258-32-3020(内線 406)

新潟市立万代長嶺小学校

6 年生担任 櫻井 勝美

電話 025-245-4488